

1. 短期展望

(p. 1)

- ①[米国株好調に上昇]
- ②[ドル高円安傾向は続き、日本株上昇]
- ③[ヨーロッパ：株高・ユーロ高]
- ④[三つのスキャンダルと二つの勢力]
- ⑤[塩爺のおとぼけ：2008年財政危機は？]

2. 展望①：ヘッジファンドの巨額損失と 信用デリバティブ

(p. 6)

こここの所のエネルギー価格の低下を切っ掛けとして、ヘッジファンドの巨額損失が相次いでいる。ヘッジファンドによる信用デリバティブ取引の拡大と相まって、世界経済には想像以上のリスクが積み上がっている可能性がある。

3. 展望②：東アジア情勢

(p. 8)

- ①[安倍訪中と胡錦濤政権の窮状]

安倍訪中の根回しをしたのはデイビッド・ロックフェラー元チェイス・マンハッタン銀行会長の意を受けたヘンリー・キッシンジャー元米国務長官と中曽根康弘元首相である。国内政権基盤の脆弱な胡錦濤が安倍訪中をロックフェラー経由で要請した模様だ。

- ②[金正日の核実験]

今回の北朝鮮核実験は、北朝鮮による一種の「対中独立宣言」。金正日は、統一教会やアメリカのプロテスタント関係者と水面下で接触を通じて、安倍政権やブッシュ政権の一部との意思疎通を図っている。

4. 展望③：ロシアの対中央アジア戦略と 日口関係(上)

(p. 11)

プーチン・ロシアは、同じ中央アジア諸国との経済協力を掲げる上海協力機構とユーラシア経済共同体の使い分け戦略を明確にしている。中国が主導する上海協力機構は貧困問題の解決に直結する社会経済分野の限定し、エネルギー分野や統一経済圏の創設は、ロシアが主導するユーラシア経済共同体の枠内で実施していく積りだ。